

2023年(令和5年)市政の主な取組

1月	・上田市下水道供用開始50周年「六花文」マンホールカード作成、配布	
2月	・消費喚起応援事業(第5弾)の実施 ・タクシー事業者「チケットQR」実証事業開始 ・上田市歴史的風致維持向上計画が国に認定 ・SDGsスタートアップシンポジウムの開催 ・マイナンバーカードを活用したマルチコピー機を設置したコンビニエンスストアなどで戸籍証明書の交付を開始	 歴史的風致維持向上計画認定式  SDGsスタートアップシンポジウムの開催
3月	・下之条自治会の皆さまと「し尿前処理下水道投入施設に関する公害防止協定」を締結 ・有機物リサイクル施設整備に向け施設周辺の9自治会の皆さまと「施設の設置に関する基本協定」を締結 ・丸子文化会館開館30周年記念コンサートの実施	 組織改正の実施  上田城復元資料収集懸賞金制度を創設
4月	・市政が直面する課題解決に向けた組織改正の実施 ・福祉医療費助成制度の支給対象者年齢の拡大(18歳まで) ・出産祝金の給付開始 ・保育業務支援ツールの本格運用開始 ・上田市看護師確保修学資金貸与制度の創設 ・ネーミングライツ制度のガイドラインの施行	 上田市図書館開館100周年記念事業(旧上田図書館全景)
5月	・第2期上田市商工業振興プランの策定 ・新型コロナワクチン令和5年春開始接種の開始	 第五中学校校舎改築事業に着手
6月	・中学校の照明器具LED化に着手 ・上田市の図書館開館100周年記念事業の実施 ・マルチメディア情報センターの機能移転に伴い「(仮称)市民ICT支援センター整備事業」の実施設計に着手	 上田市水道100周年ロゴ
7月	・上田城復元資料収集懸賞金制度を創設 ・第五中学校校舎改築事業に着手 ・資源循環型施設基本計画および施設周辺整備の基本方針について、住民説明会を全5回開催 ・地域企業のデジタル人材育成に向け東信州DX大学を開校 ・上田市水道創設100周年記念式典の開催 ・「こどもまんなか応援サポーター宣言」の実施 ・市の業務の効率化などに向けた生成AIツールの試用 ・消防団の活動・業務を効率化する「消防団災害活動支援アプリ」の導入 ・長野大学理工系学部の計画が国の大学・高専機能強化支援事業に選定	 こどもまんなか応援サポーター宣言
8月	・武石地域自治センター職員を上田市消防団機能別団員に任命	 武石地域自治センター職員を上田市消防団機能別団員に任命
9月	・武石地域を主会場とした総合型防災訓練の実施 ・新型コロナワクチン令和5年秋開始接種の開始	 総合型防災訓練
10月	・丸子デマンド交通の運行開始	 丸子デマンド交通の運行開始
11月	・国の「脱炭素先行地域」に上田市の計画が選定 ・箱置第二期工業団地の売却完了 ・池波正太郎真田太平記念館開館25周年記念セレモニーの開催	 「脱炭素先行地域」に選定
12月	・スポーツ都市宣言の制定 ・第二学校給食センターの完成	

あけましておめでとうございます

上田再構築 もっと、前へ
～主体変容～



昨年、市政にお寄せいただきましたご支援に厚く御礼申し上げますとともに、希望に満ちた輝かしい令和6年の新春を迎え、市民の皆さまのご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。

私たちの日常生活に暗い影を落としてきた新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に5類感染症へ移行となり、3年以上にわたるコロナウイルスとの闘いも大きな節目を迎えました。

改めて、失ったもの大きさを実感せざるを得ませんが、一方で、私たち一人ひとりが健康や人とのつながりをより大切に感じる機会ともなりました。

コロナ禍で得た貴重な経験と教訓を、皆さまとともに今後の上田のまちづくりに生かしてまいります。

資源循環型施設建設に向けた市としての取組

市としても優先課題に位置付ける、上田地域広域連合の資源循環型施設建設につきましては、環境影響評価の3番目の段階である「準備書」の手続を進めるとともに、「資源循環型施設建設基本計画」および周辺に余熱利用施設と公園緑地を整備する基本方針を策定し、昨年7月には住民説明会を開催し、併せて、「安全・安心な施設」と「地域のまちづくり」を2本の柱として、地元関係団体の皆さまと話し合いを続けてまいります。

また、清浄圏に代わる、「し尿前処理下水道投入施設」につきましては、昨年3月に建設地の地元である下之条自治会の皆さまと公害防止協定を締結し、令和7年度中の完成を目指して建設を進めてまいります。

さらに、可燃ごみの削減と生ごみ堆肥化を目指す「有機物リサイクル施設」につきましては、丸子地域の塩川陣場地区の畜産団地跡地を建設予定地

として、昨年3月に施設周辺の9自治会の皆さまと施設の設置に関する基本協定を締結するとともに、長年の地域課題となっていた景観面などの環境整備を行っております。

関連施設の地元の皆さまのご理解とご協力に深く感謝申し上げますとともに、私たちの生活に欠かせないごみ処理を行う資源循環型施設の早期建設整備に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

**脱炭素先行地域に選定
ゼロカーボンシティ実現へ**

昨年11月には、国が進める2050年までの脱炭素(ゼロカーボン)社会の実現に向けた取組を、全国の自治体に先駆けて実現を目指す「脱炭素先行地域」に上田市の計画提案が選定されました。

上田電鉄株式会社をはじめとする8者の民間企業などとの共同提案として、「ローカル鉄道と市民がともに支え合うゼロカーボン×交通まちづくり」をテーマに、上田電鉄別所線沿線エリアにおける太陽光発電設備や蓄電池の導入などに取り組む計画内容となっております。

今回の選定を、2050年ゼロカーボンシティうえだの実現に向けた大きなステップとし、引き続き、市民の皆さま、関係者や地域の事業者・団体などのご理解とご協力をいただきながら、関係事業の推進に努めてまいります。

上田再構築 もっと、前へ

昨年4月には、市が直面する行政課題に迅速かつ的確に対応するための体制整備として、大規模な組織改正を実施いたしました。

新たな組織体制のもと、出産祝金の給付、福祉医療費助成制度の支給対象者年齢の拡大(18歳まで)

で)、丸子デマンド交通の運行開始、スポーツ都市宣言の制定、上田城跡整備事業(発掘調査、懸賞金制度創設)の推進など公約実現に向け着実に歩みを進めてまいります。

引き続き、将来を見据えた新生上田のまちづくりに向け「上田再構築」に力強く取り組むとともに、「市民力」と「共感力」を生かした市政運営を行ってまいります。

結びに、本年は「主体変容」という言葉を大切にしていきたいと思っております。

「主体変容」とは、何か困難や問題が生じた時、「誰かのせい」、「何かのせい」、「環境のせい」にするのではなく、責任の源は自分自身であると考え、自分が変わることで周りを変えていくという意味です。

松下幸之助氏は、「人生の幸福は、主体変容がもたらすもの」と言い、周りや環境を変えようと思っても何も変わらない。まず自分を変えてはじめて「変わる」と言っています。

大切なのは、自分自身を見つめ直し、自分が変わることはないか。この「主体変容」により私たち自らが源となり、行動していくことが「明るい豊かな社会」の実現への第一歩となると確信しております。

今年も活々、清新澆刺(はつせつ)に邁進(まいしん)してまいります!!

上田市長 上屋陽一